

・清談話会 紀伊國屋書店（発売）
・秦邦彦著『昭和史の謎を追う』文春文庫

・秦邦彦著『歪められる日本現代史』PHP
研究所

・秦邦彦著『現代史の争点』文芸春秋

・秦邦彦著『現代史の対決』文芸春秋

・秦邦彦著『陰謀史觀』新潮新書

・山本七平著『日本はなぜ敗れるのか』角川

書店

・別冊正論24「再認識『終戦』」（2015年刊）
・This is 読売1998年10月号『東京裁判50周年特大号 戦犯とは何だったのか』

・中立悠紀著『東京裁判観－占領下の日本国民は東京裁判をどう見たか－』九州大学比較

社会文化研究33号（2013年刊）
（文責：榎本眞己）

せ、招き猫縁起で名高い今戸神社を参拝して参りました。

今戸神社

所在地：〒111-0024 東京都台東区今戸1-5-22

○ 御由緒



楓之典君乳母草子外伝

猫様詣——今戸神社——

中條 恵子 陸自85

都人もするる寺社参りを乳母もせ
むとてかちより詣けり

暑気の頃、猫様にお仕えする先達
でもあり、北の大地から寄席を楽し
みに時折り上京する友と待ち合わ
せ、招き猫縁起で名高い今戸神社を



る伊弉諾・伊弉冉の二柱の神は、天神の命を受けて日本の国土を創成したといわれる男女の神です。古くから産靈の神、縁を結び生産の基盤を固める神として崇められてきました。

七福神の一神、福禄寿は白髪童顔の温和な容姿で年齢は数千年といわれ、福と禄と寿との三つの福徳を授ける福の神です。昭和12年から16年頃まで七福神巡拝が行われていますが、戦時下に一時中止され、昭和52年に復活しています。浅草は江戸文化発祥の地 七福神巡りが流行したのは江戸時代からと伝えられています。

○ 丸メ猫と招き猫

今戸神社は、招き猫発祥の地の一
つといわれています。

江戸時代の地誌などに残る丸メ猫の話をご存知でしょうか。浅草花戸に住む老婆がよんどころなく飼い猫を手放しますが、夢枕にその猫が現れて『己の姿を人形にすれば福徳を授かる』と告げます。その猫の姿を今戸焼にして浅草寺境内で売ったところ、たちまち大評判になつたと

東京大空襲にも…現在の社殿は、被災・再建の歴史を経て、昭和46（1971）年に造営されたものです。

○ 沖田総司の終焉の地

今戸神社は、新選組沖田総司の地とも称されています。

田總司終焉の地と記した碑があり、今戸神社は、新選組沖田総司の地とも称されています。

○ 乳母の眩き

猫様に引かれてお江戸浅草まで詣でみれば…猫様はおられませんでしたが、数多の招き猫を愛で、幕末の士『沖田総司終焉の地』の碑も拝見できました。乳母の里には『土方歳三最期の地』がございます。何

かのご縁を感じつつ、楓之典君の待つ邸を目指して帰途に着いたのでございました。



する記述はありませんが、今戸焼の繋がりから招き猫発祥の地と称され、多くの招き猫が奉られるように固めの神として崇められてきました。

○ 乳母の眩き

猫様に引かれてお江戸浅草まで詣でみれば…猫様はおられませんでしたが、数多の招き猫を愛で、幕末の士『沖田総司終焉の地』の碑も拝見できました。乳母の里には『土方歳三最期の地』がございます。何



○ 御祭神

○ 御神天皇

○ 伊弉諾尊・伊弉冉尊

○ 福禄寿

○ 應神天皇

○ 應神天皇は武運長久と慈愛をこめて子を育てる大愛を御神徳としておられます。八幡信仰は、武運長久の靈験が一般的ですが、一方で、母が子を抱きかかえ慈愛をこめて子を育てる大愛も本願としているのです。

江戸時代の地誌等に今戸八幡に関

定説のこと

福禄寿

伊弉諾尊・伊弉冉尊

福禄寿

○ 應神天皇

○ 應神天皇は武運長久と慈愛をこめて子を育てる大愛を御神徳としておられます。八幡信仰は、武運長久の靈験が一般的ですが、一方で、母が子を抱きかかえ慈愛をこめて子を育てる大愛も本願としているのです。

江戸時代の地誌等に今戸八幡に関定説のこと

福禄寿

伊弉諾尊・伊弉冉尊

福禄寿

○ 應神天皇

○ 應神天皇は武運長久と慈愛をこめて子を育てる大愛を御神徳としておられます。八幡信仰は、武運長久の靈験が一般的ですが、一方で、母が子を抱きかかえ慈愛をこめて子を育てる大愛も本願としているのです。

○ 御祭神

○ 御神天皇

○ 伊弉諾尊・伊弉冉尊

○ 福禄寿

○ 應神天皇

○ 應神天皇は武運長久と慈愛をこめて子を育てる大愛を御神徳としておられます。八幡信仰は、武運長久の靈験が一般的ですが、一方で、母が子を抱きかかえ慈愛をこめて子を育てる大愛も本願としているのです。